

科目名	国語	必修	授業形態			開講時期	
区分	基礎科目		選択	講義			2年 2・3学期
担当者	野村安希子	資格	高校 教員免許	実務 経験	有・無	時間	35時間
<p>授業の目的・ねらい 文章を正確に読解し、適切に表現する能力を高める。</p>							
<p>生徒の到達目標 1. コミュニケーションの基礎となる読解力及び表現力を養い、適切に表現することができる。</p>							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>基礎をしっかり固める 高校トレーニングノートα 現代文</p> <p>1. } 2. } 第1章 文章に親しむ 3. } 4. }</p> <p>5. } 6. } 第2章 文章を味わう 7. }</p> <p>8. } 9. } 第3章 文章を楽しむ 10. }</p> <p>11. } 12. } 天声人語 書き写しノート 13. } 14. } 朝日新聞の1面に毎日記載されている「天声人語」を切り抜いて貼り、「天声人語書き 15. } 写しノート」に書き写しタイトルをつける。わからない漢字やことばを辞書で調べ、感 16. } 想や要約を書くことによって、社会情勢を知り、読解力や要点をまとめる力を身につけ 17. } る。</p> <p>18. 筆記試験・まとめ</p>							
<p>教科書 基礎をしっかり固める 高校トレーニングノートα 現代文 天声人語 書き写しノート</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法 出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	外国語 (英語)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			講義			2年 1学期	
区分	基礎科目						
担当者	別宮由紀子	資格	高校教員 免許	実務 経験	有・無	時間	35時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>医療・看護の現場における国際化によって、基本的英語力・英会話力の養成が重要となっている。 英語によるコミュニケーションに必要な基礎能力を養う。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <p>1. 英語に親しみ保健医療福祉活動の場で常用される英語の基礎的な能力を養い、コミュニケーションの基礎となる読解力および表現力を学ぶ。</p>							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p>はじめての看護英語</p> <p>1. } まずは単語から始めよう - 医療に携わる人々編 2. } 3. } まずは単語から始めよう - お茶編 4. } まずは単語から始めよう - からだ編 5. } まずは単語から始めよう - 病気編 6. } 7. } 基本会話表現 - あいさつ 8. } 9. } 10. } 患者さんとの会話 11. } 12. } 症状をたずねる 13. } 14. } 症状を訴える 15. } 首から上の病気 16. } けがや火傷に関する表現 17. } 18. } 筆記試験・まとめ</p>							
<p>教科書</p> <p>はじめての看護英語 医学書院</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席率、授業態度、課題提出状況、筆記試験などで評価する。</p>							

科目名	保健体育	必修・選択	授業形態			開講時期	
区分	基礎科目		講義・演習			1年 3学期	
担当者	明比君江	資格	健康運動 実践指導者	実務 経験	有・無	時間	35時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>これまでの教育課程において、既習の『知識・技能』、『思考力・判断力・表現力等』、『学びに向かう・人間性等』の育成を目指す資質・能力を生かし、全身運動を通して健康生活を送る意義を体现する。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の体力の維持・増進と健康生活における運動の意義が理解できる。 2. グループ活動を通して、チーム及び個人の役割を果たすことができる。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. <p>エアロビクス・創作ダンス</p> <p>グループ演習 発表 評価</p>							
<p>教科書</p> <p>なし</p>							
<p>参考書</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>グループ演習により、評価する。</p>							